Rubin/LSSTアラート

- 競うか協力か
  - 競う
    - 北天
    - 時間
      - 爆発直後
      - 早いタイムスケールで進化する天体
  - 協力
    - Nearby transient
      - Rubinだけではライトカーブはスパース
      - 追観測でデータは増やせる
      - マルチバンドでの追観測は絶対にやるべき
    - UVやXで見つかったものはRubinのデータを確認すべき
      - 過去のデータのforced photometry にはデータライツが必要
- 気になるのはOISTERとしてRubinに協力する上で、どこまで連携してやっていくのか？
  - 各機関がそれぞれできる範囲で追観測するのか？
  - 多くの機関で示し合わせて同一天体を追観測していくのか？

Tomo-e Gozenアラート

- Tomo-e Gozenはアラートを出しつつある。
  - OISTERに限ったアラート情報の共有を考えている
- 面白い天体を抽出する（笹岡）
  - 面白い天体の定義は人によって異なる
  - どう適切に面白い天体を分配するのか？
- OISTER側の需要は？　実際村田さんから質問があったように需要はありそう
  - 受ける側も自動化が求められる（太田）。
- 先ほどの太田先生の話でOISTERとしてはTomo-eをトリガーとした同じ夜での追観測がおもしろい
  - 冨永さんの発表であったRubinと競える点であり、北天かつ時間的有利性
    - 爆発直後だったり立ち上がりが早いものが対象となる
- このTomo-eアラートの追観測はそれぞれが、連携観測としてカウントするのか？